

【LINE Pay】武蔵野銀行と連携

2017.05.15 Fintech関連サービス

武蔵野銀行の口座からLINE Payへのチャージが可能に

LINE Pay株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：舩田 淳）は、コミュニケーションアプリ「LINE（ライン）」上で展開する“スマホのおサイフサービス”「LINE Pay」 <http://line.me/pay> において、決済プラットフォームとしての利便性向上を目的に、株式会社武蔵野銀行（本店：埼玉県さいたま市、取締役頭取：加藤 喜久雄）と連携し、2017年5月15日（月）より武蔵野銀行の口座からLINE Payへのチャージが可能になりましたので、お知らせいたします。

LINE Payは、LINEを通じてユーザー間での送金や、提携サービス・店舗での決済を簡単・便利に行うことができるモバイル送金・決済サービスです。モバイル時代の新たな決済インフラをめざし、2014年12月のサービス開始以降、ユーザーがより安心して便利に利用できる環境の整備、外部企業との連携、大型ECサイト・アプリの加盟、LINE Pay カードの発行など様々な取り組みを通じて事業の拡大を進めています。

武蔵野銀行に口座をお持ちのユーザーは、LINE Payのチャージ画面でご利用の銀行を選択しご自身の口座を登録*1することができます。初回登録以降は、アプリ内の操作のみで登録した口座からLINE Payに直接チャージすることができます。また、LINE Payが連携する銀行は本連携により全30行となります。

*1：LINE Pay利用に際しての本人確認および口座振替登録は、口座番号などの必要情報を入力後、提携銀行のWEBページに連携し、口座振替受付サービス及びそのオプション機能を利用して行います。

LINE Payは、今後も各地域の銀行との連携や、LINE Pay導入加盟店の拡大、新機能の追加、ユーザーへの各種キャンペーンの提供を積極的に行い、サービスの利便性向上および利用機会の拡大を図ってまいります。

【武蔵野銀行 概要】

名称：株式会社武蔵野銀行

本店所在地：埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8

代表者：取締役頭取 加藤 喜久雄

資本金：457億円

設立：昭和27年3月6日

【LINE Payと連携する銀行】

（全30行）

みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、横浜銀行、伊予銀行、滋賀銀行、百五銀行、親和銀行、福岡銀行、秋田銀行、十六銀行、熊本銀行、千葉銀行、北洋銀行、八十二銀行、ゆうちょ銀行、鳥取銀行、愛媛銀行、静岡銀行、百十四銀行、北陸銀行、北海道銀行、足利銀行、常陽銀行、東邦銀行、広島銀行、京葉銀行、武蔵野銀行

※開始日・五十音順

【LINE Pay株式会社 概要（2017年4月1日現在）】

社名：LINE Pay株式会社

本社所在地：東京都新宿区4-1-6 JR新宿ミライナタワー 23階

代表者：代表取締役社長 舩田 淳（LINE株式会社 取締役 CSMO）

資本金：1億5000万円

設立：2014年5月9日

主な事業内容：電子マネーその他の電子的価値情報及び前払式支払手段の発行、販売並びに管理、

電子決済システムの提供及び資金移動業

LINE Pay株式会社では、本事業の運営開始に伴い、下記の協会への加入および事業者登録を行っております。

- ・ 第三者型発行者 （登録番号：関東財務局長00669号 / 登録日：2014年10月1日）
- ・ 資金移動業者 （登録番号：関東財務局長00036号 / 登録日：2014年10月1日）
- ・ 一般社団法人日本資金決済業協会 （<http://www.s-kessai.jp/> / 入会日：2014年8月6日）